

令和6年6月19日付【環境新聞】

＜次期ビジョン作成本格化＞

全国上下水道
コンサルタント協会

次期ビジョン作成本格化

全国上下水道コンサル
タント協会は6日、東京
都千代田区のアルカディ
ア市ヶ谷で第43回定時社
員総会を開催した。任期
満了に伴い役員の変更が
行われ、間山一典会長が
再任された。

事業報告によると、2
023年度の会員各社の
上下水道部門の受注総額
は合計で対前年度比約0.
5%増の見込み。23年度
は、水コン協ビジョン
(21～25年)の第三期中期
行動計画(22～24年)の
2年目として、人材確保
支援、技術・品質・倫理
向上支援、多様な官民協
働の促進、協会活動の強
化の各基本方針に基づい
た取り組みを進めた。

24年度は、前年度で着
手した次期ビジョンの作
成を本格化する。関係者
との意見交換を重ね、現
行ビジョンの振り返り、
次期ビジョンのコンセン
トやテーマなどについて
検討する。

総会の冒頭で間山一典
会長は「能登半島地震で
は上下水道の耐震化の遅
れが大きく取り上げられ
た。背景には人材不足が
あり、予算をつければ解
決するという問題ではな
い。今後われわれコンサ
ルタントが耐震化の優先
順位や耐震化の手法ある
いは事業計画までも提案
していくべきと考えてい
る」と述べた。



間山会長